

平成29年度

第59回東京学生柔道二部優勝大会

監督会議資料
監査人送次資料

平成29年11月19日 8:20~

於：講道館6F国際部道場

平成29年度
第59回 東京学生柔道二部優勝大会
第17回 東京学生柔道オープン大会
～大会参加にあたって～

【注意】

【講道館使用にあたって】

1. 講道館内は服装を正すこと。
特に道場に入る際、柔道衣の者は正しく道衣を着用すること。
(道衣の下に衣類を着用しない。また、道衣が乱れたまま歩き回らない。)
2. 指定場所以外での喫煙は厳禁とする。
3. 窓枠及びその周辺に物を置かないこと。
4. 道場内の飲食は禁止とする。
5. その他各自、礼儀を守って行動すること。

【当連盟からの諸注意】

1. 受付・開会式の集合・その他の時間は必ず守ること。
2. 会場内の4～7階は土足厳禁である。靴は脱いだら、各自で用意した袋に入れて持ち歩くなどし、自己管理を徹底すること。8階は裸足禁止なので十分注意すること。
3. 貴重品や荷物の管理は自己で徹底すること。盗難・紛失に関して当連盟は一切関与しない。
4. 大会中に負傷した場合、各自の判断で救急車を呼ばないこと。必ず大会期間中に大会本部に連絡すること。
ドクターの判断により救急車の手配等は大会本部で行う。
なお、試合中の負傷には保険が適用されるので、**P9-10**を利用すること。
5. エレベーターは1～4階までと、1～8階への直通のみとする。
7階大道場へ行く際は、4階から階段を利用すること。また、7階の非常階段のドアの開放を禁止とする。
6. トイレ使用の際は、マナーを守り清潔に使用すること。トイレトペーパーの持ち出し・喫煙・便器へゴミを捨てる等のマナーに反する行為は行わないこと。
7. 駐車場は当連盟では用意しないので、近隣の駐車場を利用すること。
8. 各大学ペットボトル・ゴミ袋には大学名を記入すること。ゴミは各大学で用意したゴミ袋に入れて持ち帰ること。
9. 館内のコンセントの無断使用を禁止する。発見次第没収する。
10. 応援をする際に、相手選手、審判員を侮辱する言動は一切禁止する。
また同様に、審判員に相手選手の反則を促す過度の言動も禁止する。
※振る舞いについて規制を実施。
11. 上記の事項に限らず、大会役員・学生実行委員・係員の指示に従わない場合や、不正行為があった場合は、部長・監督・コーチその他責任者を呼び出し、話し合いにて処分を下す。

①オーダー提出について

1. 初戦オーダー提出について

大会当日、『オーダー用紙』に初戦のオーダーを記入し、8:30までに7階大道場・正面向かって右に設置しているオーダー受付ブースに提出すること。
※対戦校の確定していない大学は、対戦校の確定後5分以内にオーダーを提出

2. 二回戦以降のオーダー提出について

二回戦以降のオーダー用紙はオーダー受付ブースにて受け取ることとし対戦校確定から5分以内にオーダー用紙の提出を行う。
※対戦校の確定を待たずしてオーダーを提出することも可能とする。

②試合および勝敗基準について

・ 試合時間：4分

1. 勝ち数が多いチームの勝ちとする
2. 1で同数の場合は、一本およびこれと同等の勝ちによる勝者の多いチームの勝ちとする
3. 2で同数の場合は、技有およびこれと同等の勝ちによる勝者の多いチームの勝ちとする
4. 3で同数の場合は、代表者1名を自由選出し代表戦を行う。延長戦の場合はゴールデンスコア方式(無制限)にて必ず勝敗を決する。(技有以上)
ただし、両者失格等で勝敗がつかなかった場合は他の選手の中から自由選出し、再度試合を行う。

東京学生柔道二部優勝大会 オーダー記入例

平成29年度
第59回 東京学生柔道二部優勝大会
オーダー用紙

プログラムの大学番号を記入 ■ 大学名: **学連大学**

赤・白を丸で囲んでください ■ 大学番号: **121**

■ 監督サイン: **学連太郎**

■ 該当する項目に○

■ **赤** 白 試合番号を記入

■ 試合番号: **1 - 1**

■ 選手名

	選手番号	氏名
先鋒	1	学連 一郎
次鋒	2	学連 二郎
五将	3	学連 三郎
中堅	4	学連 四郎
三将	5	学連 五郎
副将	6	学連 六郎
大将	7	学連 七郎

・選手名
・選手番号
を記入。

【重要】

選手名と選手番号が異なる場合は、選手名を優先します。

↑ 選手番号を必ず記入のこと

※ 選手番号と氏名が異なっている場合は氏名を反映させます。

※ 記入漏れがある場合は受理できません

柔道衣・ゼッケン・紅白紐について

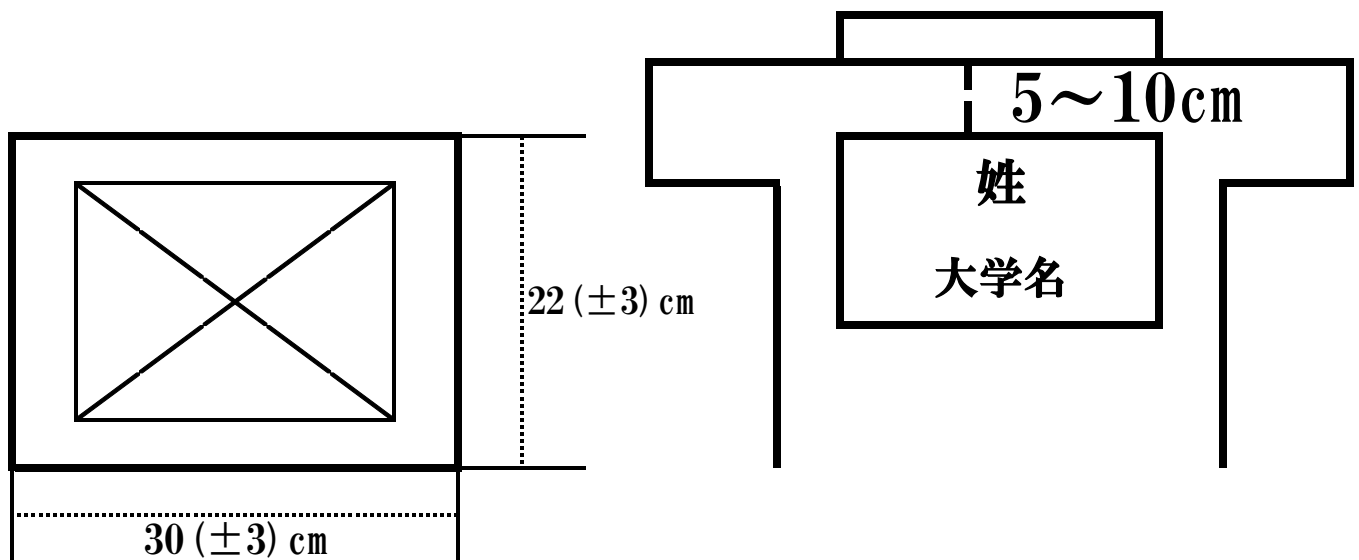
柔道衣について

- ① 青柔道衣は禁止とし、白またはクリーム色の道衣を着用すること。
- ② 登録している大学以外の柔道衣での試合出場は禁止。
- ③ 無地の柔道衣は可。

ゼッケンについて

本大会において着用するゼッケンは、以下のものとする。
適合したゼッケンを着用していない場合は出場を認めないこともある。

- ① サイズは、 $30(\pm 3)\text{cm} \times 22(\pm 3)\text{cm}$ 。
- ② 布地は白地の晒、太綾。
- ③ 文字の色は男子は黒、女子は赤。
- ④ 縫い付けの場所は、後襟から5~10cm下方
- ⑤ 縫い付けは、周囲のみでなく対角線にも行う。



紅白紐について

- ・紅白紐は各大学ごとで必要分を用意することとする。

※全国大会時に着用する企業ゼッケンを必ず外しておくこと

【試合場におけるコーチの振る舞いについて】

東京学生柔道連盟

コーチの役割

1. コーチは、選手への様々な状況における指示、戦術的なアドバイス、怪我の対応など、選手とのコミュニケーションを取ることを目的とする。
2. コーチは、自身の選手が大会会場に入場してから退出するまでの間、選手の行動に責任を持たなければならない。

コーチの場所

1. 原則として各試合場の正面と反対側、あるいは試合場の横側に、コーチ1名のみ入ることが許され、用意された椅子に着席しなければならない。
2. 伝統的にコーチを認めていない大会（全日本選手権大会など）においては、主催者の判断による。

コーチの言動

1. 試合が止まっている間（「待て」から「始め」の間）のみ、選手に対して指示を与えることができる。試合続行中は、選手に対して指示を与えることが許されない。
2. 次の行為を禁止する。
 - (ア) 試合が続行している最中に指示を出すこと。また、試合中に立ち上がること。
 - (イ) 審判員の判定に対し、コメントや批判、或いは訂正を要求すること。
 - (ウ) 対戦相手、審判員、役員、一般客、および自分自身の選手を侮辱するような行為や言動をすること。
 - (エ) 広告看板や器具に触ったり、殴ったり、蹴ったりすること。
 - (オ) その他、柔道精神に反する行為
3. 原則としてコーチは審判員に準じた服装とし、大学名 ID カードを付けるものとする。

罰則

上記に違反した場合は、下記による処分を科すものとする。

1. 1回目は、審判員が合議の上、口頭による注意をする。
2. 1回目の注意で改善されない場合は、審判員が大会委員長または審判長に報告の上、大会委員長または審判長の責任のもとにその試合が終了するまで試合場フロアの外へ退去させる。但し、試合はその後も続行するものとする。
3. 次の試合からは、またコーチ席に座ることができるが、その後も改善が見られない場合は、その大会期間を通して試合場フロアへの入場を禁止する場合もある。

補足

大会の観戦者（観客席）についても上記「言動」以下は同様の扱いとする。

団体戦の試合場における登録選手及び主務の応援方法について

場所

1. 原則として各試合場の正面と反対側、あるいは試合場の横側に、登録選手のみ入ることが許され、試合者以外は指定された椅子に着席しなければならない。

言動

1. 対戦中の自軍の選手に対してのみ試合上の指示や応援、戦術的アドバイスなどをおこなうことが出来る。
2. 次の行為を禁止する。
 - (ア) 試合中、意図的に立ち上がったたり大声をだしたりするなど、選手や審判員に対し威圧的な態度や言動をすること。
 - (イ) 審判員の判定に対し、コメントや批判、或いは訂正を要求すること。
 - (ウ) 対戦相手、審判員、役員、一般客、および自分自身の選手を侮辱するよう行為
 - (エ) 広告看板や器具に触ったり、殴ったり、蹴ったりすること。
 - (オ) その他、柔道精神に反する行為

罰則

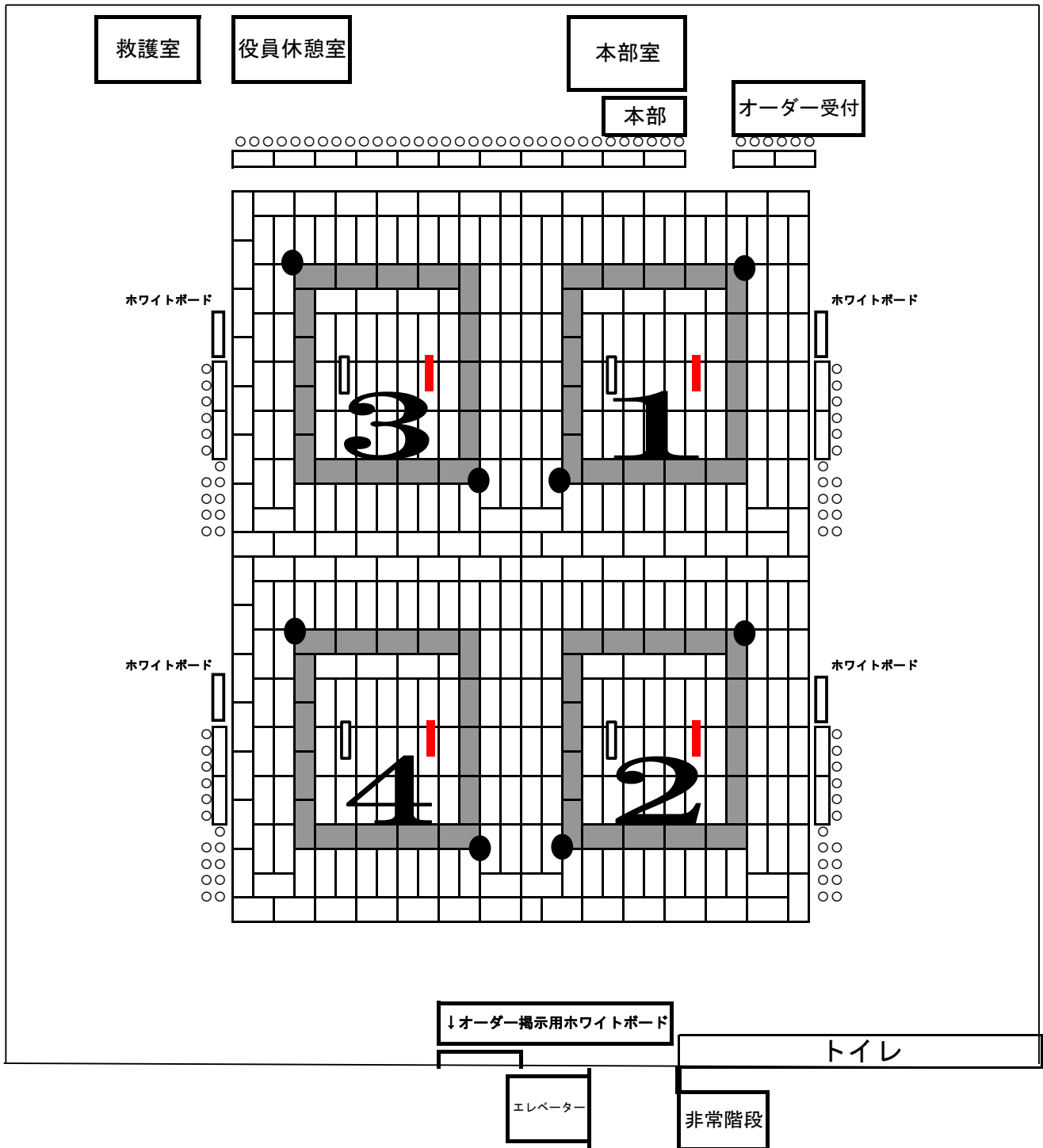
上記に違反した場合は、下記による処分を科すものとする。

1. 違反1回目が認められた場合は、審判員が合議の上、口頭による注意をする。
2. 1回目の注意で改善されない場合は、審判員（ジュリー含む）が大会委員長または審判長に報告の上、大会委員長または審判長の責任のもとにその試合が終了するまで「指導者」を試合場フロアの外へ退去させる（大会本部にペナルティエリアを設ける）。但し、試合はその後も続行するものとする。
3. 次の試合についても、その後も改善が見られない場合は、その大会期間を通して試合場フロアへの入場を禁止（試合出場不可）する場合もある。

補足

1. 大会の観戦者（試合場外、観客席）についても上記「言動」以下は同様の扱いとする。

平成29年度 第59回東京学生柔道二部優勝大会 第17回東京学生柔道オープン大会 会場図



平成 29 年 5 月吉日

東京学生柔道連盟 主催大会参加者 各位

三井住友海上火災保険株式会社
上級代理店
株式会社日本総合コンサルタント
金井 義明
TEL 03-3633-5533
携帯 090-3246-6696

平成 29 年度大会参加者事故報告の件

拝啓 新緑の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記のことに就きまして、万一の事故の際の報告内容等下記ルールに従ってお願い申し上げます。

敬具

記

- 1、事故発生日時・大会名・大学名・氏名・受傷箇所を東京学生柔道連盟へ報告します。
その後下記を参考に三井住友海上傷害事故受付センターへ連絡をします。
- 2、東京学生柔道連盟より三井住友海上火災保険株式会社事故受付センターへメールします。
- 3、三井住友海上火災保険株式会社事故受付センターよりケガをされた学生に書類を送付。
- 4、ケガが完治後保険を請求します。

以上

傷害事故が起きた場合

三井住友海上傷害事故受付センターに連絡して下さい。

(TEL 0120-258-189)

下記の要領でご連絡願います。

「東京学生柔道連盟の大会で受傷した〇〇□□です」

証券番号 C302920509 ○月○日の試合中転倒し、肩を脱臼したので保険金請求書を送ってほしい。」

おケガが完治してから保険金請求書を三井住友海上宛郵送して下さい。

郵送先は保険金請求書と同封の返信用封筒をご利用下さい。

本状は大切に保管してください。万一の時、必ずお役に立ちます。

お問い合わせ先：三井住友海上火災保険株式会社
代理店株式会社日本総合コンサルタント
担当金井 TEL 03-3633-5533
FAX 03-3633-5612

平成 29 年度第 59 回東京学生柔道二部優勝大会
安全対策について

大会選手の怪我等についての対策として大会試合場内にドクターが待機しております。万が一怪我をされた場合には必ず救護席までお越してください。

救護席にて治療を受けた後、病院へ通院することになりましたら傷害保険も加入しておりますので、別紙のとおり保険会社へ連絡をして下さい。

またそれと同時に当連盟への連絡も必要となります。下記の項目を記入のうえ、FAX またはメールにて連絡ください。

1. 事故発生日時

平成 29 年 11 月 19 日 (日) 午前 午後 時 分頃

2. 受傷者について

〒 _____ 住所 _____

ふりがな
氏名 _____ 大学 携帯番号 _____

年齢 _____ 才 生年月日 昭・平 _____ 男 ・ 女

負傷の程度 例：内側側副靭帯損傷全治 2 ヶ月 (ドクターに言われたことを記入)

事故発生状況 例：柔道の大会中相手に体落として投げられた際、膝を捻り受傷。

報告先：東京学生柔道連盟 TEL03-3213-7106 FAX03-3287-3282
E-mail office@tokyojudo.gr.jp